

「省エネルギー学習会」

会議年月日	30年8月3日	時間	13:30 ~ 16:00	場所	流山市生涯学習センター(3F)
-------	---------	----	---------------	----	-----------------







出席者	春田(記)、石垣、大前、難波、小笠原、小熊、下田、高橋、増永、山田、平手、田中、石井 (ホワイトボードに向かって時計回り順に記載、敬称略)
-----	--

議 題

8月度の「省エネ学習会」を開催した。

1, 「北極海の海水の変化と影響」

石井 皓(理学博士、千葉県地球温暖化防止活動推進員)

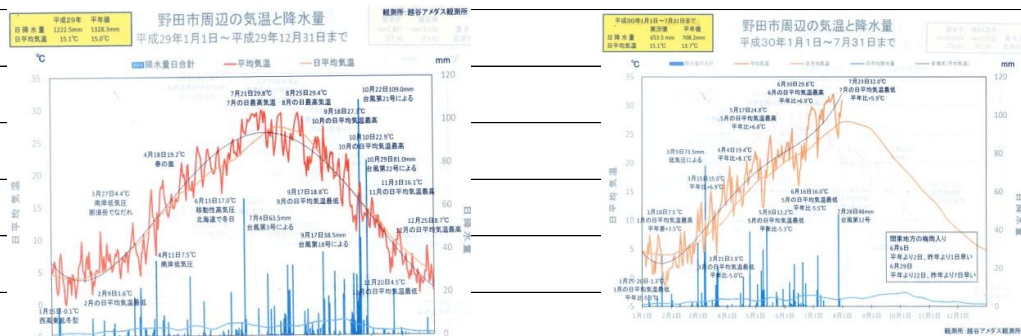
<p>違法伐採でインドネシアの熱帯雨林がなくなる恐れがある。</p>  <p>http://www.tekipaki.jp/~text/ird/rainforests.htm</p> <p>世界の熱帯雨林の消滅の速度＝約80エーカー/分、もともと世界の14%が熱帯雨林、いま6%のみ。2010。</p>	<p>開発でアマゾンの熱帯雨林40%なくなる。</p>  <p>ケツァールの美しい姿もいずれは幻となる？(コスタリカ、中米)。</p> <p>2050。</p>	<p>43℃を超える。東京の夕方6時の気温。</p>  <p>2030。</p>	<p>九州で15%が水不足に。</p>  <p>九州の平均気温が1.9℃上昇、農業用水の不足から筑紫平野、熊本平野を含む九州の15%で稲作不能になる。</p> <p>2030。</p>	<p>北海道11℃。 Deng熱媒介のヒトスジシマカの分布が拡大する。ヒトスジシマカはチクングニヤウイルスの媒介能力が高いことから、チクングニヤ熱の流行も危惧される。</p>  <p>http://www.fuji.sakura.ne.jp/~shin/gallery/hachiari/hitoshimaka.html 2100。</p>
<p>夏の北極海の氷の消滅</p>  <p>2020。</p>	<p>数億人が水不足。森林火災の危険の増大、熱波、洪水と暴風雨の被害の増加。</p>  <p>栄養不足、下痢、呼吸器疾患、感染症の増加 2020。</p>	<p>世界のサンゴ礁のほとんどが白化。</p>  <p>2080。</p>	<p>ホッキョクグマ絶滅。</p>  <p>2025。</p>	<p>日本の大豆生産6-10%減。北海道リンゴ栽培適地に。現在の主産地一部不適に。3℃気温上昇。</p> <p>2060。</p>

<資料>

- ・海水域面積の長期変化傾向(全球) 気象庁地球環境・海洋部 H30-1-31発表
- ・異常気象をもたらす北極振動の力学 田中 博(筑波大学 計算科学研究センター教授)

2, 野田市周辺の気温と降水量(H29年度とH30年度の比較)

田中和孝(気象予報士 野田エコライフの会)



<次回予定>

H30年9月7日(金) 13:30~15:30 流山市生涯学習センター(3F)大会議室 以上